

妙高市2021年度自治体SDGsモデル事業提案概要

自治体SDGsモデル事業名：
みんなで作る生命地域 Redesignプロジェクト

提案者名：新潟県妙高市

取組内容の概要：

国立公園妙高の自然環境を軸として、市民や観光客等にとって利便性と満足度の高いサービスを再設計し提供することにより、経済・社会・環境の好循環を生み出すとともに、真の豊かさを実感でき、安心して住み続けられる「生命地域 妙高」をつくる。

経済



課題：地域資源を活用したツーリズムプログラムの充実

- 農林業体験を組み合わせた観光の推進
- 健康保養地プログラムの推進
- アウトドア・スポーツツーリズムの推進
- スポーツ等合宿の郷づくりの推進

課題：観光二次交通の充実による回遊性向上

- 主要駅と観光地を結ぶ二次交通の充実と利便性向上
- 地域内を周遊する観光バスの充実

地球の学校参加者などによる域内消費額が増加

エコモビリティの導入によりCO2排出削減
SDGsに対する意識の醸成による保全と活用の促進

環境

課題：国立公園妙高の自然環境の保全と活用

- 生物多様性の保全
- 里山の保全と活用

課題：ゼロカーボンシティの推進

- 環境にやさしいライフスタイルの普及
- 再生可能エネルギー等の利用促進



関係人口による地域課題の解決

デジタルシフトの推進による市内への企業進出、起業・創業

三側面をつなぐ統合的取組 生命地域妙高の「エコモビリティチャレンジ」

- 笹ヶ峰高原における新たなエコモビリティの導入
- AIを活用したシェア型デマンド交通サービスの提供
- SDGsツーリズムの推進
- 妙高型ワーケーションの推進

課題：市民生活を支えるための公共交通の確保

- 地域特性に応じた公共交通サービスの提供
- 高齢者にやさしい公共交通サービスの提供

課題：デジタルシフトの推進

- 市民サービスの高度化と利便性向上
- デジタル技術の活用に通じた地域経済の活性化
- テレワーク・ワーケーションの推進による関係人口の創出

環境保全意識の高まりによるライフスタイルの転換

電動自動車の導入・効率的な運行によるCO2排出削減

社会

